

<資料3>

令和元年度 藤枝市行政サービス評価委員会

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

藤枝市

# ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

## ①コンパクト+ネットワークで創る健康都市

数値目標	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率
中心市街地区域内の居住人口	10,811人	10,771人	10,855人	100.8%
中山間地域活性化施設等の年間利用者数	292,000人	287,000人	306,165人	106.7%

NO	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
1	中心市街地区域内の従業者数	1,300人	1,282人	1,384人	108.0%	中心市街地活性化基本計画の主要事業を中心とした活性化事業の推進や駅前地区市街地総合再生基本計画に基づく市街地再開発事業やリノベーションによるまちづくりの取り組みにより、従業者数のさらなる増加を図る。
2	優良田園住宅指定箇所	3箇所	3箇所	3箇所	100.0%	青地農地への建設の可能性について、県との協議を実施する。加えて、稲葉小周辺への整備が促進されるよう事業者等への働きかけを実施する。
3	産業用地確保面積	8ha	6ha	10.2ha	170.0%	民間遊休地も含め、企業の受け皿となる産業用地の早期確保に努める。
4	地区交流センター・公民館の年間利用者数	470,000人	462,500人	540,385人	116.8%	多くの団体が気軽に使いやすい身近なセンターにするため、引き続き情報発信やサービスの充実を図る。
5	広域幹線道路(主要9路線)の平均通行時間	16.5分	18.0分	18.5分	97.3%	社会資本整備総合交付金の配分率が低く、財源確保が厳しいため、より効果の高い路線を優先的に整備をする。
6	自主運行バス路線等総延長	109.6km	109.6km	116.9km	106.7%	地域住民や路線バス利用者のニーズを把握し、より実情に応じた路線運行を検討する。
7	中心市街地の歩行者通行量	10,300人	10,000人	9,173人	91.7%	中心市街地活性化基本計画の主要事業を中心とした活性化事業の推進や駅前地区市街地総合再生基本計画に基づく市街地再開発事業やリノベーションによるまちづくりの取り組みにより、歩行者通行量のさらなる増加を図る。

NO	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
8	地域イベント来場者数	7,512人	7,063人	18,737人	265.3%	各施設の魅力を生かしたイベントを開催する。施設間のネットワークづくりを支援し、お互いのイベント情報を共有、発信することで、効果的な情報発信を行う。
9	花に関するイベントへの来場者数	247,900人	245,540人	275,700人	112.3%	花回廊事業の取り組みが、より多くの市民に周知するよう、SNS等を利用し積極的に情報発信していく。
10	蓮華寺池公園への年間入込客数	164万人	160万人	133.4万人	83.4%	蓮華寺池公園のさらなる魅力アップを実現するため、再整備計画に基づく施設の整備促進、四季を通じた花の魅力発信等を促進する。
11	中心市街地の緑視率	22.7%	22.4%	16.7%	74.6%	平成30年度測定においては、測定予定時期前に強剪定されたこと、また再開発街区前の道路整備や民間施設の取り壊しなど特殊要因が重なり、非常に低下しているため、剪定時期に左右されないような、新たな施策を関係各課と協議、検討していく。
12	市全体のCO <sub>2</sub> の年間排出量	927.1千t	956.9千t	1,027.4千t	93.1%	再生可能エネルギー導入や省エネルギー活動を促進するために、事業所等に対し、セミナーで各種支援策情報を提供するなど支援機関を活用した相談窓口を設ける。
13	環境マネジメント取得事業所数【累計】	95社	90社	84社	93.3%	エコアクション21の認証取得については個別支援制度をPRする。また「ふじえだエコチャレンジ」で従業員の継続した環境活動を支援し、エコアクション21認証取得への足がかりとしてもらう。
14	太陽光発電設備最大出力	80,000kW	70,000kW	50,400kW	72.0%	住宅用太陽光発電設備設置費補助金及び中小事業者向け設備導入資金利子補給を継続し、さらに設置を呼びかけていく。
15	家庭から排出される燃やすごみ市民1人1日あたりの排出量	403g	406g	411g	98.8%	①ごみ減量資源化説明会を効果的に行うため、違反ごみや排出量が多い地区で開催し、住民意識を高める ②生ごみ分別収集実施地区を更に拡大する ③生ごみ処理機やデイスパーザーの補助制度を周知し、導入促進を図る
16	登下校時における小学生・中学生の交通事故発生件数	0件	2件	9件	22.2%	各季交通安全運動、セーフティスクールゾーン運動、臨場感ある交通事故の疑似体験が可能なVRを活用した交通安全教室を実施する。また、通学路事故対策事業により、小・中学校から提出される危険個所について、警察署と連携し、より効果的な安全対策を積極的に実施していく。
17	人身交通事故発生件数	1,150件	1,170件	1,094件	106.9%	市民生活に密着する生活道路の安全性と快適性を高めるため、歩道の整備や自転車通行空間の整備を推進する。また、各季交通安全運動、無事故無違反コンクール等、市民総ぐるみのあらゆる交通安全運動を展開し、事故の発生を抑制していく。

NO	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
18	防災訓練に参加した市民の割合	29.0%	28.7%	25.3%	88.2%	各種説明会、出前講座などで訓練参加を意識づけるとともに、防災教育などの視点を取り入れた訓練を計画し、児童・生徒から高齢者までの幅広い年代が訓練に参加するよう促していく。
19	災害時情報配信システム登録人数	7,000人	6,750人	6,751人	100.0%	引き続き、地域防災連絡会や出前講座等あらゆる機会を通じ、多くの市民に活用していただくよう周知に努めるとともに、イベント情報など他分野情報を含め、全庁体制により登録増に努める。
20	緊急輸送路に甚大な被害を及ぼす可能性のある跨道橋の耐震化率	100%	80%	80%	100.0%	国は防災・安全交付金において、老朽化対策に重点配分する方針であるため、今後の耐震補強は、老朽化対策と併せて実施する方法を検討する。
21	耐震性が劣る住宅数	6,191戸	6,511戸	6,076戸	107.2%	木造住宅耐震補強計画補強工事業を新設し、計画と工事を一体の補助制度とし確実に補強工事まで導く。
22	準用河川整備延長	46,325m	46,225m	46,036m	99.6%	準用河川高田大溝川改修事業は、令和3年度の完了を見込んでおり、また、準用河川六間支川についても令和元年度の完了の見込みである。今後、改修が必要となる河川の中でも優先順位の高い箇所について、新たに改修計画を立て、計画的に整備を行う。
23	水道基幹管路耐震化率	43.6%	39.0%	54.6%	140.0%	令和元年度において策定する「藤枝市水道事業基本計画・経営戦略」に基づき、基幹管路の耐震化を着実に進め、令和22年度末までに基幹管路の耐震化率100%を目指すことで、災害に強い水道システムの構築を図る。
24	下水道管路情報の電子化	L=310km	L=308km	L=310km	100.6%	平成30年度工事分について更新業務委託を早期発注し、目標達成を目指す。
25	公共施設適正総量の維持	404,113.07㎡	404,113.07㎡	419,334.42㎡	103.8%	工事に係る機器・材料等の納期や経費などの更なる精査により、的確で効果的な長寿命化の推進を図る。

# ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

## ②産業としごとを創る健康都市

数値目標	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率
創業支援件数【累計】	133件	101件	386件	382.2%
市税収入額増加率(H26年度実績を基準(100))	105%	104.0%	104.5%	100.5%

NO	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
26	農商工連携製品創出数	37件	32件	62件	193.8%	今後は、専門家などを活用し、販路やターゲットを絞り込んだ商品づくりに取り組む。「作りたい商品」が「買いたい商品」となるよう支援する。
27	経営革新計画承認件数【27年度から累計】	30件	24件	40件	166.7%	引き続き、中小企業の新たなチャレンジを支援するため、産業コーディネーターをはじめとして各支援機関と連携していく。
27-ア	市内企業でICTを新たに導入した企業数	18件	12件	22件	183.3%	業種別のセミナーや企業への提案活動を継続し、企業が抱える課題の掘り起こしとICTの導入効果を示すことで、ICT導入の促進し、産業競争力の一層の向上を図っていく。
28	空き店舗活用チャレンジ支援事業補助金利用件数	5件	3件	3件	100.0%	H30年度は目標件数を達成したが、補助額に対して申請に必要な書類が煩雑すぎるとの指摘も受けており、「開業チャンス！応援事業」と合わせ、空き店舗活用にかかる全体的な見直し作業を進める。
29	開業チャンス！応援事業利用件数(店舗所有者利用分を除く)【累計】	10人	7人	25人	357.1%	目標を上回る実績が続いており、空き店舗率にも成果が表れているが、さらなる活用を進めるため、空き店舗の情報収集と情報発信を強化していく。また、「空き店舗活用チャレンジ」と合わせ、空き店舗活用にかかる全体的な見直し作業を進める。
30	ふじえだ・まちゼミ参加店舗数	52店舗	49店舗	64店舗	130.6%	参加店舗数は目標を上回る成果を上げているため、今後は参加店舗主の交流機会の拡大を通して、各店舗の創意工夫を促し、意欲と集客の向上に向けた取り組みを強化する。
31	藤枝型買い物支援サービス応援事業活用団体数【累計】	20団体	15団体	23団体	153.3%	目標値を上回る成果を上げているが、申請書類作成やプレゼンテーションを負担と考えると申請に至らないケースも見受けられるため、新たに買い物支援サービスの展開を促すような補助のあり方について検討を行う。

NO	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
32	農用地利用集積面積	955ha	892ha	792.4ha	88.8%	地域における話合いに基づく人・農地プランの実質化を推進し、地域農業の将来を担う農業者への農地集積・集約を図る。
33	認定農業者の年間農業所得目標の達成率	45.0%	40.0%	3.9%	9.8%	各種補助制度を活用し、認定農業者が行う施設整備、機械導入等への支援を行うとともに、認定農業者への農地集積・集約を推進し、認定農業者の経営基盤強化を図る。
34	認定就農者数(新規就農者)育成目標数到達率	81.5%	77.8%	74.1%	95.2%	市独自の支援制度である、農業次世代人材育成支援交付金、農業次世代人材経営強化事業補助金の周知・活用を推進し、新規就農者の育成を図る。
35	地域住民による農地等保全活動の取組面積	255ha	230ha	185.3ha	80.6%	多面的機能支払交付金事業の周知を行い、新規活動組織の立ち上げを目指し、取組面積の増加を図る。
36	農業基盤整備促進事業受益農地面積	30.0ha	25ha	29.2ha	116.8%	限られた財源の中で効率よく、用排水路の整備を進め、受益農地面積の増加を図る。
37	フーズサイエンスヒルズプロジェクト参加企業数	37社	34社	59社	173.5%	今後は更に、フーズサイエンスセンターとの連携を密にし、市内事業者への情報発信強化に努め、参画企業者の増加を進める。
38	企業立地件数【累計】	58件	54件	79件	146.3%	民間遊休地も含め、企業の受け皿となる産業用地の早期確保に努める。
39	企業立地優遇制度による設備投資額【累計】	290億円	250億円	337億円	134.8%	
40	FEG支援センター「エフドア」活用件数	450社	400社	336社	84.0%	ホームページの更新を行い、更なる効果的な情報発信に取り組む。
41	FEG戦略プログラムによる新商品、新サービス開発数	36件	27件	39件	144.4%	引き続き、企業訪問や情報共有、産業コーディネーターの施策への積極的な参加等を通じ、ビジネスマッチングに力を入れていく。

NO	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
42	女性の創業支援者数【累計】	315人	240人	336人	140.0%	年々セミナー受講者が減少しており、起業希望者の掘りおこしが重要になっている。セミナーの内容を見直し、受講者が関心を持ち参加しやすい内容に変更し、受講者の増加を図る。
43	男女共同参画推進事業所認定数	33事業所	30事業所	31事業所	103.3%	認定数を増やすため、これまで認定されていない企業への周知を行う。あわせて、認定企業へのより魅力的なインセンティブを検討する。
44	労働環境改善事業を活用した施設改善等の事業所数	2事業所	2事業所	6事業所	300.0%	女性や若者が働きやすい環境を作ることは、若年者の従業員確保に繋がるため、制度のPRに努めて行く。
45	資格取得支援事業を活用した国家資格取得者数	15人	14人	1人	7.1%	国家資格の取得費用を補助することで、中小企業の人材育成に資するとともに、そこで働く従業員の労働意欲向上につながるため、制度のPRに努めて行く。
46	シルバー人材センター登録者数	1,100人	1,080人	894人	82.8%	人手不足分野や介護・育児など現役世代を支える分野での就業促進に積極的に取り組み、会員確保に努める。
47	福祉施設利用者の一般企業等に就職した年間人数	27人	27人	15人	55.6%	障害者のテレワークオフィス支援事業など新規に取り組むとともに、関係機関と連携し企業の個別訪問を行い、受け入れ側の要望を把握し一般就労に繋げる。

# ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

## ③ひとの流れを創る健康都市

数値目標	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率
年間観光交流客数	250万人	247万人	252万人	102.0%
転入者数	4,953人	4,953人	4,691人	94.7%

NC	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
48	県外からの転入者数の増加	1,800人	1,790人	1,882人	105.1%	首都圏における移住相談会への参加や採用ガイダンスに参加するとともに、移住・定住促進事業の補助拡充により転入者増加を図る。
49	ふじえだ住まいのコンシェルジュにより移住・定住に結び付いた人数	100人	80人	94人	117.5%	今年度中に静岡移住相談センターにて「出張相談会」を開催し、移住者のニーズを的確に把握する。
50	空き家バンクで移住・定住に結びついた世帯数	33世帯	29世帯	36世帯	124.1%	静岡県移住相談センターで開催される出張相談窓口(藤枝市)へ新たに参加するほか、移住希望者の住まいの確保に伴う経済的負担の軽減を図るため、現行の補助制度の見直しを行う。
50-7	20～30代の転入者数	3,106人	2,988人	2,628人	88.0%	民間活力を活用したより良いシティ・プロモーション事業や、移住・定住促進事業の補助拡充により転入者増加を図る。
51	市内に就職した年間就職者数(連携4大学)	62人	50人	53人	106.0%	「藤枝市産学官連携推進センター」を中心に学生と企業とのマッチングや学生による地域企業探索などの取組を支援する。
52	子育て世代(20～40代)の転入者数	3,449人	3,449人	3,153人	91.4%	民間活力を活用したより良いシティ・プロモーション事業や、子育て世代を対象とした移住・定住促進事業の補助拡充により転入者増加を図る。
53	地域資源発掘・育成講座の年間参加者数	194人	188人	208人	110.6%	地域資源を発掘する人材、また地域資源を活用して体験型観光に繋げる人材を育成する講座にて、実績を有する人物を講師に招くなど魅力的な内容として、参加者数の増加を図る。



NC	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
54	体験型観光プログラム年間参加者数	2,800人	2,600人	2,000人	76.9%	新たな体験型観光プログラムを開発し、より多くの参加者が地域資源に触れられる環境を整え、参加者数の増加を図る。
55	外国人観光交流客数	25,800人	24,750人	42,839人	173.1%	観光案内所での多言語対応、外国人にもわかりやすい動画での市観光情報発信を強化し、来訪交流人口の拡大に繋げていく。
56	国内友好都市年間交流件数	58件	56件	58件	103.6%	庁内に友好都市事業の推進を図るとともに、補助金制度等の内容を広報に掲載し、市民(団体)レベルでの交流を活性化させる。
57	国外姉妹都市年間交流人数	1,560人	1,520人	1,521人	100.1%	特に楊州市との交流事業が定着してきているため、新規事業を実施し、さらなる交流人口を増加させる。
58	歴史文化施設来場者数	161,250人	159,000人	214,212人	134.7%	他の観光施設などからの回遊性を高めることにより来場者数の拡大を図る。
59	サッカーに携わる人の数	3,100人	3,070人	3,717人	121.1%	女子サッカーの競技人数の向上を図るとともに、選手のみならず、指導者や審判員の拡大を図る。
60	女子サッカーの競技人数	350人	330人	209人	63.3%	藤枝なでしこ広場の継続して開催し、幼児から小学生年代の女子サッカー選手の増加を図るとともに、中学生年代での活動の場の創出を図る。
61	ふるさと応援寄付金収入額	3億円	2.6億円	18.8億円	723.1%	令和元年6月よりふるさと納税の指定制度が開始されるため、地場産品基準や経費率等の改正地方税法の基準に対応していく。 上記対応を行う中で、寄付サイトの周知・拡大や、ガバメント・クラウドファンディングなどの新たな手法の導入検討により、寄付額の確保及び藤枝ブランドの拡充・発信を図っていく。
62	茶改植等面積	8ha	7ha	6.7ha	95.7%	今後、基盤整備を推進し、改植・新植を進めていく。
63	藤枝ジュニアお茶博士認定数	356人	316人	289人	91.5%	認定数の少ない小学校などに対し、認定講座の案内、活動実績などを広報していく。

NC	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
64	年間宿泊客数	173,000人	170,000人	236,106人	138.9%	富士山静岡空港を離発着する国際線の便数、就航先に合わせた観光誘客活動を、近隣市町と組織する広域観光連携協議会で行い、来訪交流人口の拡大を図る。
65	自治会と市民活動団体等との年間連携事業数	19事業	17事業	17事業	100.0%	市民活動団体と地区交流センター等とのマッチングを図り、連携事業につながるよう努める。
66	ボランティア登録者数	1,000人	900人	1,067人	118.8%	「Fボラ登録制度」の登録者と事業とのマッチングをする仕掛けを考えていく。高校生・大学生世代の登録数を増やす。また、「買い物弱者支援」の支援・利用拡大促進を行う。
67	市民活動団体数	500団体	490団体	533団体	108.8%	3年に一度の実態調査を行い、団体数の把握・団体の抱える課題解決に向け団体同士の連携を支援する。
68	福祉ボランティアの登録団体数	214団体	208団体	202団体	97.1%	第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画を基に、家庭や学校での教育、生涯学習を通じて、市民の地域福祉に関する意識を高めていく。また、文化センター内にあったボランティアひとり役センターを福祉センター内に移転し、ボランティア活動と地域福祉事業を連携させ、活動の活性化、地域づくりを担う新たな人材の発掘を推進する。特に、託児ができるボランティアを養成することで、子育て中の親の社会参加を支えていく。
69	福祉ボランティアの登録者数	5,160人	5,150人	4,710人	91.5%	
70	認知症サポーター養成講座参加者数	19,000人	17,169人	16,666人	97.1%	認知症養成講座を定期開催することで、市民が受講したいときに受講できる体制を整える。認知症ネットワークガイド第4版の周知と合わせて養成講座の周知を行う。
71	介護予防普及啓発事業参加者数	4,120人	4,120人	4,146人	100.6%	各地域包括支援センターの工夫や地域の特性に合わせ、ふれあいサロン、老人クラブ、アクティブクラブ等様々な場面で啓発を行う。
72	要支援要介護認定を受けていない高齢者の割合	86.0%	85.8%	84.5%	98.5%	生きがいデイサービスは、男性参加者が少ないため、さわやかクラブを通じてのPRや毎月取り組んでいる65歳への介護保険説明会の場などを活用し、男性への周知活動に努めて、参加者の増加を目指していく。
73	在宅看取り率	20.0%	20.0%	16.1%	80.5%	本人・家族にとっての望む最期の実現にむけた支援体制の構築と、サービス付高齢者住宅や有料老人ホーム等を自宅としている人の看取りの場の検討を在宅医療介護連携推進会議において行う。

NC	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
74	自立相談支援事業利用件数	300件	275件	442件	160.7%	平成30年度と同様、アウトリーチを積極的に行い生活保護に至る前の段階から早期に支援していく。
75	学習チャレンジ利用者高校進学率 (生活に困窮した家庭の子ども対象)	100%	100%	100%	100.0%	進学率100%をこのまま維持していきたい。強制はできないものの、教育費の負担が少ない公立高校への進学者を増やしたい。

# ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

## ④出会いと子どもの未来を創る健康都市

数値目標	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率
出生数	1,095人	1,095人	988人	90.2%
婚姻件数	710件	706件	521件	73.8%

NO	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
76	結婚応援事業の参加人数	110人	110人	379人	344.5%	引き続きセミナー・イベントを一体で実施し、より多くの参加者が見込まれるような企画を行う。
77	子育てにやさしいまちづくりイベント参加者数【累計】	300人	240人	701人	292.1%	「ママシネマ事業」を継続実施するとともに、新たな事業展開により、子育てにやさしいまちづくりをさらに推進し、“子育てにやさしいまち”“子育てしやすいまち”を実感させ、定住・来訪の動機付けを図る。
78	地域子育て支援拠点での年間相談対応件数	5,000件以上	4,400件	2,926件	66.5%	子育て中の親のみならず、妊婦も利用できることを広くPRすると共に、職員研修等を実施し子育て支援に関する多様な相談に対応できるよう努める。
79	保育所待機児童数	0人	2人	0人	100.0%	幼稚園の認定こども園化による保育定員を確保や小規模保育施設等の新設に対する支援の継続により、保育ニーズに応じた定員を確保していくことで、待機児童数ゼロを維持していく。
80	妊娠・出産に係る継続支援者数(支援プラン作成)【年間】	33人	32人	31人	96.9%	支援を必要と判断した妊産婦全員の計画を作成することができた。今後も継続して実施していきたい。 支援の内容をより充実させ、関係機関と連携していく。
81	保育者の知識・技術向上研修連続受講者数(全10回)	180人	144人	196人	136.1%	年3回事例検討会を継続し、専門性の向上や園等におけるユニバーサルデザイン、個に対する合理的配慮の方法等を検討することにより、技術向上をめざす。
82	特別支援学級設置校数	20校	19校	19校	100.0%	特別支援教育の理解啓発を図り、本人や保護者の思いに寄り添った就学支援を行う。そのなかで、すべての子どもたちに適切な支援が行えるよう特別支援学級の 신설、増設にかかわる学区ごとの人数を把握し、保護者の意思確認を丁寧に進めていき、必要に応じて特別支援学級の 신설・増設を県等に働きかけるとともに、通級指導教室の 신설、校内就学支援体制の整備等をすすめる。

NO	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
83	科学教室参加者数	225人	200人	515人	257.5%	JAXAや大学等と連携して、子ども達の科学への興味や学びの意欲を高めるため、内容の充実を図る。
84	進んで挨拶ができるこどもの割合	97.0%	94.0%	85.0%	90.4%	マナーブックの活用と、日常のあいさつ運動の充実を図り、子どもたちのあいさつへの意識の向上を図る。
85	幼稚園・保育園での親学講座年間受講者数	985人	970人	961人	99.1%	講座内容の充実や、幼稚園・保育園へのPRを強化し、利用者増を図る。
86	ALTとの英語課外活動に参加した児童・生徒数【累計】	700人	600人	916人	152.7%	いずれの回も、定員を大きく上回る応募があったため、多くの児童生徒が参加できるような工夫をする。
87	児童1人当たりの図書館での年間図書貸出数	25.6冊	25.2冊	23.5冊	93.3%	子ども読書活動推進計画(第3次)による施策の進捗状況を把握し、家庭、幼稚園・保育園・子ども園、学校、地域での読書環境をより良いものにするため、学校図書館司書や子ども読書アドバイザーと連携し、計画を推進する。
88	ふじえだ型ピア・サポート研修修了者数	288人	261人	260人	99.6%	すでにピア・サポート研修会を修了した教員がかなり増えてきたことから、より実践的な研修内容に変更していく。新規採用者等には、2年次研修の中で研修会を設けることで対応する。
89	給食食材への県内地場産品年間使用率	38.0%	36.0%	38.6%	107.2%	生産者から学校給食センターへの直接納入を引き続き促進する。また、市内産の食材を使用した加工品の創出によりさらなる地産地消を目指す。さらに、親子料理教室等を通して地産地消について学ぶ機会を増やし、新給食メニューの定着を目指す。
90	ジュニアリーダー育成数	24人	23人	12人	52.2%	高校卒業による減少など、育成数の減少が止まらない状況である。今一度、過去の養成教室受講者に活動への参加を呼びかけていく
91	放課後子ども教室参加者数	520人	508人	486人	95.7%	関係者の高齢化により、教室の継続が困難になりつつあるとの相談もあることから、新たな協力者を募り、新規開設だけでなく、現在開設済の教室の継続取り組む
92	公民館・交流センター講座年間受講者数	6,250人	6,150人	7,432人	120.8%	講座を検討するにあたり、企画の段階から地域の要望を取り入れ、年齢層にあった講座やイベントを開催することでより多くの参加者を目指す。
93	健康マイレージ達成者数	3,500人	3,000人	2,404人	80.1%	H30システム改修で利便性を向上させた健康マイレージを健康経営の実践企業で活用し、さらに協力店の掘り起しによりインセンティブの強化を図ることで、利活用を促進する。

NO	KPI名	最終目標値	H30目標値	H30実績値	達成率	今後に向けた改善点
94	保健講座等年間参加者数	5,742人	5,725人	5,761人	100.6%	引き続き更なる参加者増加のため、広報活動を工夫していく。
95	食育指導の実施数	642回	634回	728回	114.8%	平成30年度には、小学校全校で食育指導を行ったが、中学校では10校中9校で実施となった。令和元年度は10校すべてで食育指導の実施を行う。
96	がん検診受診率	59.5%	59.1%	62.8%	106.3%	今後についても、がんの早期発見を目的として実施しているがん検診について、検診を定期的に受けることの大切さ等を、いろいろな機会に啓発を実施していくことで、がん検診受診者の拡大を図る。
97	市立総合病院の正規常勤医師数	125人	121人	111人	91.7%	1人体制となっている診療科について、充実を図る。
98	市立総合病院の看護師数	585人	585人	595人	101.7%	適正な看護師数を維持するため、離職防止に努める。
99	休日当番医開業日数	71日	72日	72日	100.0%	引き続き、休日昼間の初期救急医療体制を維持するため、志太医師会との連携、協調を図る。
100	市民体育館・市民武道館の年間利用者数	180,000人	176,000人	174,961人	99.4%	スポーツ施設を有効に活用するため指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活用することで、利用者の利便性向上、効率的・効果的な管理運営を行う。
101	総合型地域スポーツクラブ数	8クラブ	8クラブ	6クラブ	75.0%	現在6つある総合型地域スポーツクラブの運営をサポートするとともに、新規クラブの設置に向け、関係者と協議を進める。
102	国等スポーツ大会の出場者数	124件	122件	119件	97.5%	民間企業と連携を図り、オリンピックなどによるスポーツ教室を開催し、各種競技の普及や競技力の向上に努める。また、小学生世代の選手へのサポート体制を強化するため、スポーツの安全確保に関する講習会など、指導者・保護者向けの座学講座を開催する。
103	静岡県トレーニングセンター及びナショナルトレーニングセンターへの輩出人数	常時5人以上	4人	9人	225.0%	藤枝市サッカー協会と連携し、小学生年代から高校生年代まで、一貫した育成ビジョンのもと、事業を実施する。
104	芸術文化体験事業の参加者数【累計】	14,800人	13,600人	25,622人	188.4%	子ども合唱アカデミーの専門家派遣希望校が7校とまだまだ少ないため、校長会を通じて事業の趣旨や学校側のメリットを周知し拡大に努める。